

より良い大気環境と作業環境改善につながる共同研究を開始しました！

川崎市では、多様化、複雑化する環境課題に対応するため、企業、大学、研究機関等と連携した共同研究事業（環境技術産学公民連携共同研究事業）に取り組んでおり、このたび、光明理化学工業株式会社（高津区下野毛）と覚書を締結し、共同研究を開始しましたのでお知らせします。

光明理化学工業は、川崎市内に本社を置くガス検知管のトップメーカーであり、今回の研究は、義務化されている事業所のリスクアセスメントに関して、ガス検知管を用いた低コスト・短時間・簡易な自主管理手法の確立を目指します。

多くの事業者の自主管理を促し、化学物質の適正管理を推進することで、大気環境と作業環境の更なる改善等につながるよう、本市の環境測定ノウハウも活かしつつ、本共同研究を推進していきます。

1 共同研究事業名

「ガス発生を伴う屋内・屋外作業が大気環境／作業環境に及ぼす影響についての調査研究」



ガス検知管

ガス採取器

※ ガス検知管とは、空気中に含まれる様々なガスの濃度を知るための測定器のことです。

2 研究概要

屋内・屋外作業における作業内容と大気中の化学物質の発生状況等に関する基礎的知見を調査し、ガス検知管を用いた低コスト・短時間・簡易な作業環境測定方法を活用したリスクアセスメントを確立するための調査研究等を行います。

本研究成果の活用イメージ

作業手順①



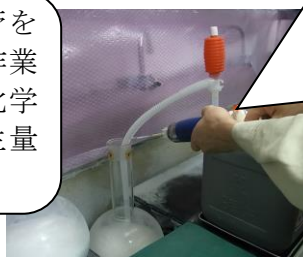
作業手順②



作業手順③



ガス検知管を用いて、作業手順毎に化学物質の発生量を測定



ガス検知管を用いた測定の様子

どの作業手順で化学物質が室内の空气中に漏れ出ているかを把握。漏れ出ていた場合には、低減に向けた作業の改善を実施。



大気環境と作業環境の更なる改善に寄与